

熊建労5400人の力を合わせた

熊本地震救援ニュース

2016年6月6日(月)

第26号

発行 村上久義 教宣部長
TEL096-283-7811

被災組合員訪問とボランティア活動に 福岡の仲間、長崎・大分・熊本の青年部有志が参加



本日の予定を参加者一同に伝える中本本部常任執行委員



組合員宅を
一軒ずつまわり
現状を参加者と
共に聞き取り

やっぱり現場に行ってみないと現状はつかめない 被災者の要求も地域ごとに違いがある



一月半がたっても
手が付けられない
益城の住宅



比較的被害が少ない
熊本市北区清水の住宅
瓦が割れて一部落下



建物がつぶれ・傾き
ブルーシートで覆われた
益城町の住宅

1、被害状況（該当支部）

6/6 9:00 現在

	菊鹿	阿蘇	東部	西部	宇城	八代	計
ケガ	0	0	7	6	10		23
家 全壊	2	1	70	14	7		94
半壊 瓦・一部	11	9	447	59	146	10	682
地盤沈下 液状化		1 (川沿い)					1
土石流避難		4					4

(1) 被災地の状況

- ボランティアに一度来てもらったが、まだ家の中の片づけがある。
- 熊建労に支援物資が届いていることを、伝わっていない組合員がいる。

(2) 被災した仲間の要望（また地域住民からの引き続きの要望）

- 土日をおろ組合員ず組合員の来所が続いていた東部支部で、5日の来所者がなかった。
- ブルーシートを使っていたが、破れてしまい再度取りに来る方が増えている。
- 水・レトルト食品等の要望強い。

2、支援活動

(1) 支援

- 福岡県建設労働組合と建設長崎・大分県建設合同労働組合の青年部有志がボランティア活動に駆けつけ、総勢 36 人で訪問・ボランティア行動を取組みました。
- 熊建労人吉球磨支部中球磨分会の仲間 8 人が、住宅デーとしてボランティア活動に参加しました。

(2) 週末ボランティア活動予定

- 12日（日）福建労の仲間が、ボランティア活動で来熊予定